

会社情報

会社概要 （2021年3月31日現在）

社 名	株式会社 ミューチュアル
会 社 設 立	昭和24年（1949年）2月14日
資 本 金	6億6,970万円
U R L	https://www.mutual.co.jp/
従 業 員 数	（連結）195名 （単体）138名
事 業 内 容	自動包装機械及び関連機器の設計・製作・輸出入販売 設備ライン化のための機械設計及び製作 機械器具設置工事 工業用ダイヤモンドの輸入販売

事業所 （2021年4月1日現在）

本社	〒530-0047 大阪市北区西天満一丁目2番5号 大阪JAビル9階 TEL.(06)6315-8613 FAX.(06)6315-8618
東京支店	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町二丁目11番 協友ビル7階 TEL.(03)5296-7071 FAX.(03)5296-0007
静岡営業所	〒420-0033 静岡市葵区昭和町10番6号 富士岡第1ビル3階 TEL.(054)255-4471 FAX.(054)255-4472
福岡営業所	〒811-3217 福岡県福津市中央二丁目23番14号 TEL.(0940)35-8123 FAX.(0940)35-8124
富山営業所	〒930-0083 富山市総曲輪一丁目5番24号 TAMURA BUILDING5階 TEL.(076)445-5257 FAX.(076)442-3338
大阪技術センター	〒595-0043 大阪府泉大津市清水町3番36号 TEL.(0725)21-1130 FAX.(0725)21-6970
東京技術センター	〒343-0822 埼玉県越谷市西方3129 TEL.(048)987-1751 FAX.(048)987-1752
関東工場	〒289-1144 千葉県八街市八街ろ55-125 TEL.(043)440-0530 FAX.(043)440-0531

役 員 （2021年6月29日現在）

代表取締役会長 兼 CEO	三 浦 隆
代表取締役社長	榎 本 洋
取締役 常務執行役員 西日本営業担当 兼 大阪営業部長	川 島 浩 二
取締役 常務執行役員 総務部長	吉 野 尊 文
取締役（社外）	野 尻 恭
監査役（常勤）	住 中 秀 和
監査役（社外）	北 川 和 郎
監査役（社外）	中 西 清
補欠監査役（社外）	山 田 美 樹

駐在員事務所

Mutual Corporation Thai Representative Office
No.2 Jasmine Bldg. 12th Fl., Room 52, Soi
Prasarnmitr (Sukhumvit 23), Sukhumvit Rd.,
North Klong toei, Wattana, Bangkok 10110, Thailand
TEL.+66 (0) 2-612-7382

グループ会社

株式会社ウイスト
三晴精機株式会社

第77期報告書

自 2020年4月1日 至 2021年3月31日



ENGINEERING PROFESSIONAL

ENGINEERING
MANUFACTURING
TRADING
MAINTENANCE



CONFIDA-2020

MUTUAL

証券コード：2773

マネジメントメッセージ

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り、誠に有り難うございます。

新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりになられた皆様に謹んでお悔みを申し上げますとともに、罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、医療関係者を始めとする最前線で対応されている皆様に心より敬意を表します。



代表取締役社長
榎本 洋

代表取締役会長
三浦 隆

持続的成長を目指し 着実に歩を進めると同時に、 次の成長を担うリーダーを育成

このたびの新型コロナウイルス感染症の拡大、そしてそれに基づく様々な制約や新たな社会構造の変容。今、企業経営にとって取り組むべき課題が山積する中で、ミューチュアルは人を大切に育て、この難局を乗り越えてまいります。

Q.1 まずは、新型コロナウイルス感染症の影響も含め、近況の経営環境及び当期の業績につきましてお話しください。

2020年初頭より猛威をふるう新型コロナウイルス感染症の拡大は、第4波の拡大防止に向けて4都府県に2021年4月25日に3回目の「緊急事態宣言」が出されましたように、いまだに社会・経済に大きな影響を与えております。当社グループにおいては、社員の安全を確保し、感染拡大防止を最優先とした営業活動を展開すると同時に、営業支援システムのバージョンアップや事務処理のクラウド化を進め、事業継続体制を整備してまいりました。しかしながら、訪問・面談の制限などにより、次の売上高を創出する提案・受注活動が厳しい状況に置かれております。

このような状況下、当期の業績につきましては、コロナ禍による不自由な受注活動を強いられ、売上高は前期比4.7%減の112億円と

なりました。一方、利益面におきましては、工程管理強化などによる原価低減効果に加えて展示会の中止、旅費交通費の減少などにより販売費及び一般管理費が減少したことで、経常利益が前期比3.6%増の12億99百万円となりました。なお、1株当たりの配当金につきましては、前期と同額の普通配当25円とさせていただきます。

Q.2 それでは、中長期の方向感及びこのパンデミック下での取り組みにつきましてお話しください。

当社グループは、3つの基本路線の下で持続的成長を目指しております。この基本路線の根底に流れているものは差別化戦略です。当社グループにしか提供できない製品の開発・調達、加えて、当社グループの総合力を活かしたエンジニアリング・メンテナンスサポートの強化を進め、顧客から選ばれる企業集団を目指しております。こうした取り組みにおいて当期に開発した世界で最もコンパクトなシリンジ・

バイアル兼用液体・粉体充填打栓機「CONSFIDA（コンフィード）-2020」の今期よりの本格的な販売活動の展開、また、新しく日本における独占販売権を得たイタリア・UNIFILL社のプラスチック・フィルムから容器成型し、液体充填・シールを行う全自動機が営業品目に加わったことにより、世界の著名なFORM-FILL-SEAL機の3社が揃うことになりました。つまり、プラスチック粉末から無菌で容器成型・充填・密封をする機械で世界NO.1の納入実績を誇るドイツのROMMELAG社（日本でも一回だけ使用の点眼液などに多数稼働しています）と当期に独占販売権を得たスペインのBOSSAR社（プラスチック・フィルムから製袋・スパウト取り付け・固形物または液体充填・密封）、そしてイタリアのUNIFILL社の世界の著名な3社の全自動包装機が当社の取扱品目となり、医薬品業界だけでなく、化粧品、トイレットリ、食品、そして日用品業界向けに、より積極的な営業を展開することができるようになりました（これら3社の機械については「期待される製品群」にて詳細後述）。

一方、さらに長期的な成長を目指す上では、海外市場の開拓が不可欠となります。特に中国・東南アジアにおいては、経済発展とともに保険制度の充実が見られ、医薬品の需要が急激に伸びることが想定されております。既に当期より中国各地で催された3度の展示会に出展し、2021年8月のタイ・バンコクでの展示会にも出展参加することを決めており、海外市場開拓の途についております。また、本格的海外進出に向けては長期的な視点に立った戦略構築が重要になることから、現在のグループの海外展開を一旦整理し体制固めを進めております。この観点から、2020年11月5日の取締役会でタイでの機械製作を意図した現地法人「Mutual(Thailand)Co.,Ltd.」の解散・清算を決議しており、代わって営業情報活動のための連絡事務所を設けることになりました。

当社グループは、上述のように次の成長を目指し様々な課題に取り組んでおりますが、この全ての原動力は人材であり、人材の活性化を根底施策として進めております。

基本路線

1. 医薬品業界の深掘
2. 国内新規マーケットの開拓
3. 海外への展開強化

Q.3 人材活性化への取り組みにつきまして、もう少しご説明をいただけますか。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、ニューノーマルな社会が到来していることは事実です。しかしながら、企業経営にとっては人材が何よりも大切であり、人材の活性化が企業力を高めて成長を生み出すことには変わりないと考えております。こうした観点から、社員の遣る気を起こし、適正に評価していくためのプロセスを本年6月より立ち上げております。具体的には、マネジメントクラスへのジョブ・ディスクリプション制度を導入し、業務内容、役割、目標などを規定する中で、レビューに基づく適正な評価を行い、次のリーダーの育成を進めております。この取り組みは、まだ始まったばかりですが、既に中堅社員の活性化に結び付き、若手への波及効果も期待されます。また一方、コロナ禍により働き方が変わり、自分の力が発揮できる職場を失い転職・退職を余儀なくされた中高年の方々がおられる中で、当社グループは、積極的に中途採用に取り組み、遣りがいのある職場を創ることで、活力と多様性を高めてまいります。そのために当期より社員が職務を選択できる「職務チャレンジ制度」をスタートさせ、社員が自律的かつ意欲的に仕事に取り組めるような制度を設けています。

Q.4 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当社グループは、社名の由来にあるように設立以来、様々なステークホルダーとの共存共栄を目指してまいりました。また、営利企業として当然ながら、利益を生み出すことを最重要目的とし、株主の皆様を始め全てのステークホルダーに還元するとともに、今後の成長に向けた内部留保に充てることを基本方針としています。今、新型コロナウイルス感染症が蔓延する中で、コロナ禍への対応、成熟化する国内市場での競争優位の確立、長期的成長に向けた海外への進出など課題は多くありますが、着実にそして大胆に挑戦していくことで、利益を創出し、皆様方との共存共栄を永続的に目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、変化に対応し改革を進めるミューチュアルに、今後ともご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト

財務ハイライト

		2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3
売 上 高	連 結	12,219	8,350	11,066	11,847	11,286
営 業 利 益	連 結	1,228	369	1,005	1,233	1,247
経 常 利 益	連 結	1,261	472	1,034	1,253	1,299
親会社株主に帰属する当期純利益	連 結	798	224	589	760	935
総 資 産	連 結	13,358	13,331	15,004	15,632	15,426
純 資 産	連 結	8,694	8,846	9,170	9,786	10,764
発行済株式総数(千株)	単 体	7,620	7,620	7,620	7,620	7,620

単位: 百万円

セグメント情報

	2020/3	2021/3	
	金額	金額	前期比
産業用機械事業	11,385	10,878	95.5%
医薬品	7,253	7,614	105.0%
化粧品	2,472	1,818	73.6%
食品	891	553	62.1%
その他	768	891	116.0%
工業用ダイヤモンド事業	461	407	88.4%
合計	11,847	11,286	95.3%

単位: 百万円

株式の状況 (2021年3月31日現在)

株式基本情報

発行可能株式総数	17,000,000株
発行済株式の総数 (うち自己株式数)	7,620,320株 (1,168,505株)
株主数	10,358名

大株主

	持株数	持株比率
有限会社エム・ティ・シー開発	393 千株	6.1 %
MTC社員持株会	361 千株	5.6 %
株式会社三井住友銀行	322 千株	5.0 %
ミューチュアル取引先持株会	286 千株	4.4 %
株式会社三菱UFJ銀行	264 千株	4.1 %
三浦 隆	205 千株	3.2 %
三浦 雅子	199 千株	3.1 %
豊田 容梨子	174 千株	2.7 %
森崎 真規子	173 千株	2.7 %
株式会社立花エレテック	122 千株	1.9 %

所有者別株主分布状況

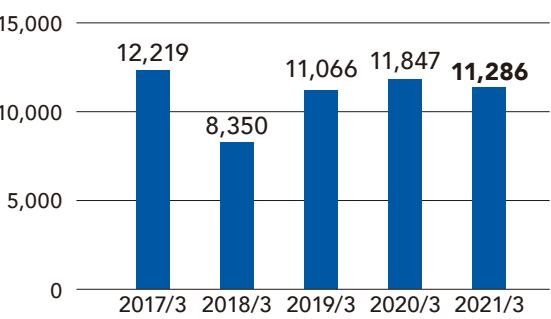
個人	10,238 名	98.8 %
その他国内法人	75 名	0.7 %
証券会社	16 名	0.2 %
外国法人等	21 名	0.2 %
金融機関	7 名	0.1 %

所有者別株式分布状況

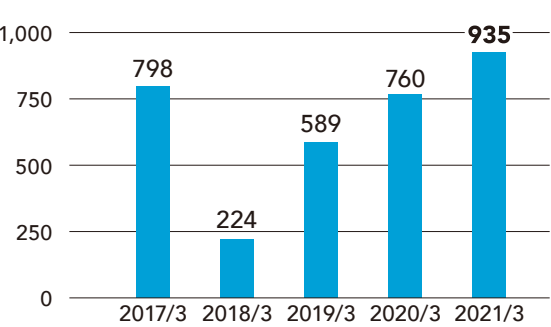
個人	453.3 万株	70.3 %
その他国内法人	87.6 万株	13.6 %
証券会社	6.5 万株	1.0 %
外国法人等	5.1 万株	0.8 %
金融機関	92.4 万株	14.3 %

(注) 株主数及び持株比率は自己株式を控除して計算しております。

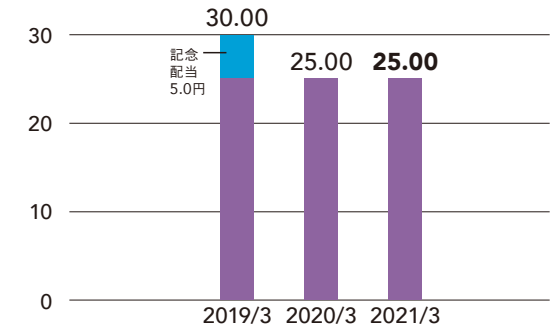
■売上高 単位: 百万円



■親会社株主に帰属する当期純利益 単位: 百万円



■1株当たり配当金 単位: 円



(注) 2019年3月期の1株当たり配当金は、普通配当25円に創立70周年の記念配当5円を加えた30円です。

期待の製品群

素材から製袋・容器成型、充填、密封（FORM-FILL-SEAL）を
1台の機械で完結する世界の著名な3機種

従来から取り扱っている納入実績世界NO.1のドイツのROMMELAG社の「無菌での容器成型充填シール機」に加え、当期にスペインのBOSSAR社の「フィルム製袋充填シール機」、そして、今期よりイタリアのUNIFILL社の「フィルム容器成型充填シール機」の取り扱いを開始。素材（粉末またはフィルム）から製袋・容器成型、充填、密封するという『フォーム・フィル・シール』機の世界的「名機」でラインナップを組むことができました。これにより、医薬品・化粧品・トイレタリィ・食品・日用品など、広範囲の営業展開や深耕が可能となりました。

容器成型充填機 ROMMELAG社/ドイツ

プラスチック樹脂から容器を成型し、目薬などの点眼液や医薬用の輸液ボトル、無添加化粧品などを作る無菌状態での全自動フォーム・フィル・シール機です。納入実績世界NO.1を誇り、日本でも多数稼働しています。容器の調達、滅菌などを必要としないため製品製造コストはもとより容器の輸送・保管など物流費の削減が図れる上、無菌充填をするため異物混入のリスクも少なく、日本においても一回だけ使用（Uni-dose）の点眼液、医薬用輸液は勿論、無添加化粧品の生産にも活躍しています。



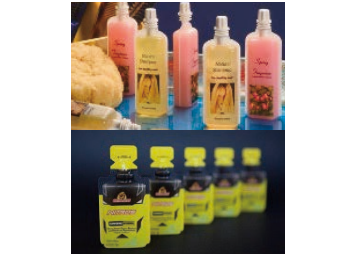
フィルム製袋充填機 BOSSAR社/スペイン

フィルム原反から色々な袋を作り、液体または固形物を充填。さらに自動的に袋の上部の真ん中やコーナーにスパウトも装着して、密封する、全てを1台で完結する全自動の機械です。世界市場では広く活躍していますが、日本では袋を外部から調達して、充填・シールだけを機械化しているのが殆どで、本機は日本初登場です。各工程を別々の機械で行うよりも工程を大幅に削減でき、また、フィルムから製袋することによって、購入した袋に充填する場合と比較してコストが抑えられ、かつ、生産能力が大きく向上します。



フィルム容器成型充填機 UNIFILL社/イタリア

フィルム原反から1人分だけの容器（ポーションパック）を成型し、充填、シールまでを1台で完結することができます。厚めのフィルムから瓶を成型し、液充填をして、スパウトを装着するモデルもあります。フィルムから容器を成型することにより、容器の輸送や保管の費用が低減、部品の交換だけで色々なデザインの容器成型ができます。

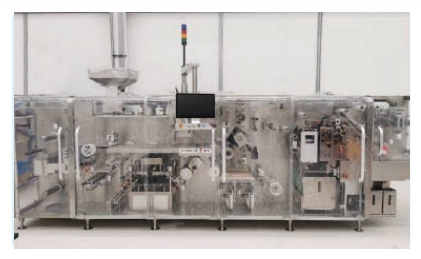


トピックス

中国の大手製薬企業から受注している

当社のPTP包装機プレスタ6000が

当社の技術提携先の中国のメーカーで、このほど完成しました。



株主優待 毎年9月30日を基準日に、「株主優待制度」を実施しています。

当社は業績に連動した配当を基本にしておりますが、当社株式への投資魅力を高め、より多くの方々に中長期的に当社株式を保有していただくことを目的として、9月30日を基準日とした株主優待制度を導入しています。

対象となる株主様	株主優待の内容	「オリジナルカタログ」のお届け時期
毎年9月30日現在の株主名簿に記載された、当社株式1単元(100株)以上かつ1年以上継続保有されている株主様を対象といたします。	次のとおり、保有株式数に応じて、優待品を贈呈いたします。	毎年12月上旬に、普通郵便にて「株主優待のご案内(オリジナルカタログギフト及びお申込み専用はがきとセット)」「個人情報保護シール」を同封した封書をお送りします。 ※各カタログの内容は変更される場合があります。
	保有株式数 優待の内容	
	100株以上 1,000株未満 選べる優待品 1,500円相当	
	1,000株以上 5,000株未満 選べる優待品 3,000円相当	
	5,000株以上 選べる優待品 5,000円相当	

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL. 0120-094-777(通話料無料)
定時株主総会	毎年6月中	同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社のインターネットで24時間承っております。 インターネットホームページ https://www.tr.mufg.jp/daikou/
期末配当金の受領株主確定日	毎年3月31日		※上記取次所においては、特別口座に記録された株式についてのみお取り扱いしております。特別口座以外で株式を管理されている株主様は、口座を管理されている各証券会社経由でお願いします。
中間配当金の受領株主確定日	毎年9月30日		
公告方法	電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行う。		
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社		